

Archicad

断面リスト作成ツール

操作説明書

内容

はじめに.....	3
動作環境	3
インストール.....	4
起動アプリケーションの終了	4
断面リスト作成ツールのインストール開始	4
断面リスト設定	7
設定画面	8
断面リスト作成及び更新	16
機能要件.....	17
対象となるツール.....	17
共通要件	17
作成される断面リスト	17
制限事項	17

はじめに

断面リスト作成ツールは、ST-Bridge ファイルを Archicad にインポートした構造モデルから RC 造および S 造の柱・梁・壁・スラブ・基礎の断面リストを自動的に作成するツールです。これにより、ST-Bridge ファイルを扱う一貫構造計算プログラムとの構造設計ワークフローを強化します。

また Archicad 内で鉄筋情報をそれぞれの要素設定ダイアログより詳細に入力し断面リストを作成することもでき、BIM モデルから構造設計を Archicad で完遂することが可能となります。

動作環境

断面リスト作成ツール Ver. 1.0 は、以下の環境での動作を保証します。

Archicad バージョン	26、25
OS	Windows10 (64bit)
その他	Archicad の動作環境に準ずる ST-Bridge ファイルとの連携を行う場合、「ST-Bridge Converter for Archicad」アドオンが必要となりますので、必ずインストールをしてください。

インストール

ここでは、断面リスト作成ツールのインストール方法について説明します。

起動アプリケーションの終了

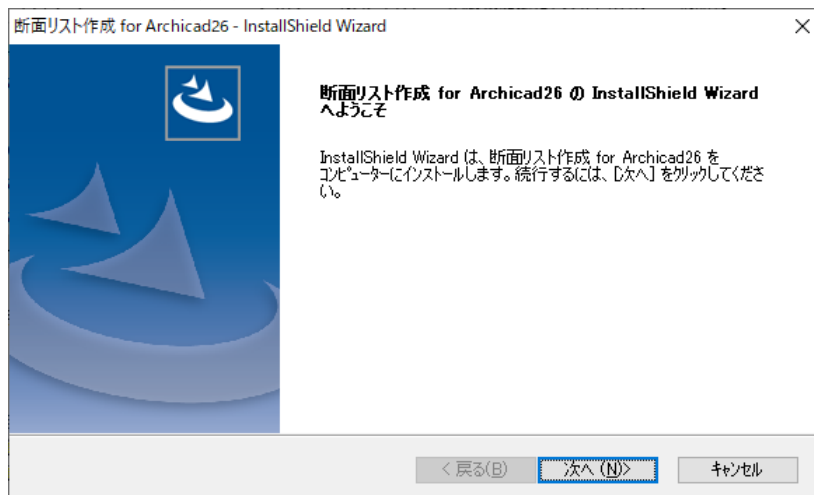
現在起動中のアプリケーションを全て終了させてください。

* 必ず**管理者権限**の有るユーザーでログインしてからインストールを行って下さい。
また、インストール終了後、管理者権限の有るユーザーでログインをし、一度起動することによりインストールが完全に終了します。
2回目以降のプログラム起動は、管理者権限の有るユーザーである必要はありません。

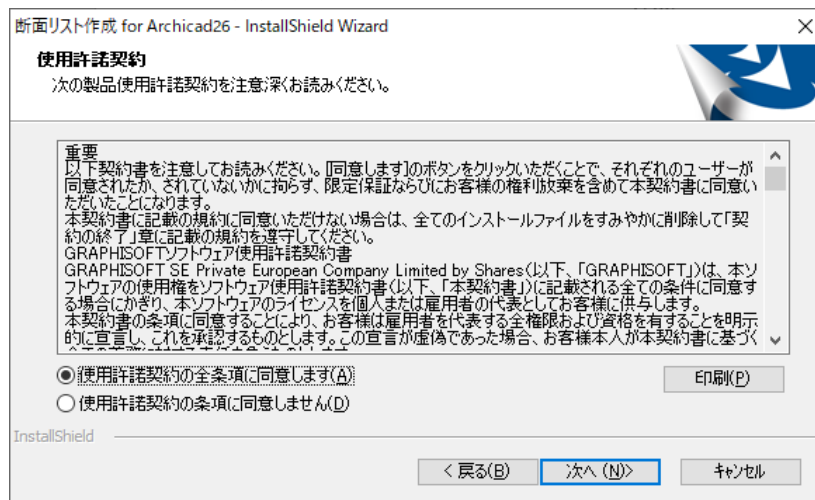
断面リスト作成ツールのインストール開始

- (1) 『断面リスト作成ツール』のインストーラ
(SECLISTArchicad25.exe 又は SECLISTArchicad26.exe) を起動してください。

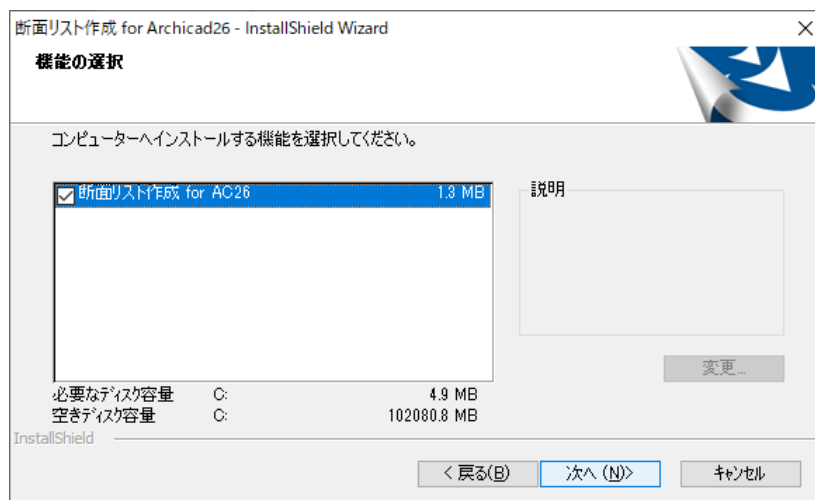
- (2) インストーラを起動すると、以下の画面が表示されます。
[次へ(N)]をクリックします。



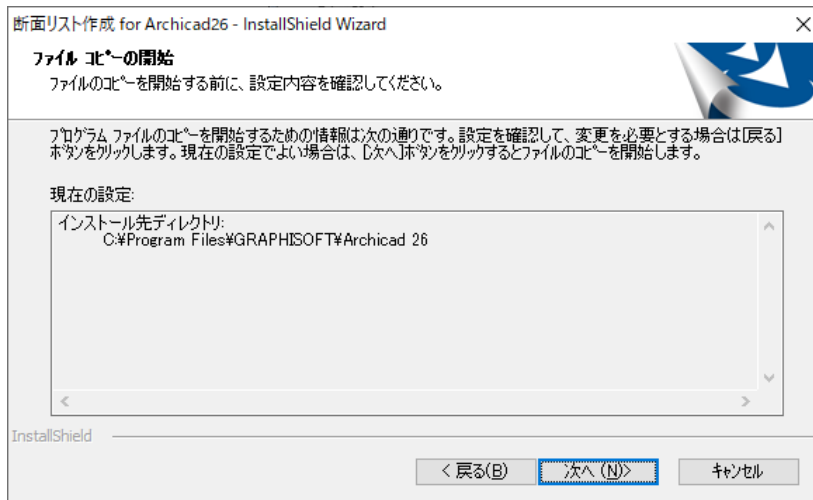
- (3) ライセンス条項に同意する場合、[使用許諾契約の全条項に同意します(A)]にチェックを入れ、[次へ(N)] をクリックします。



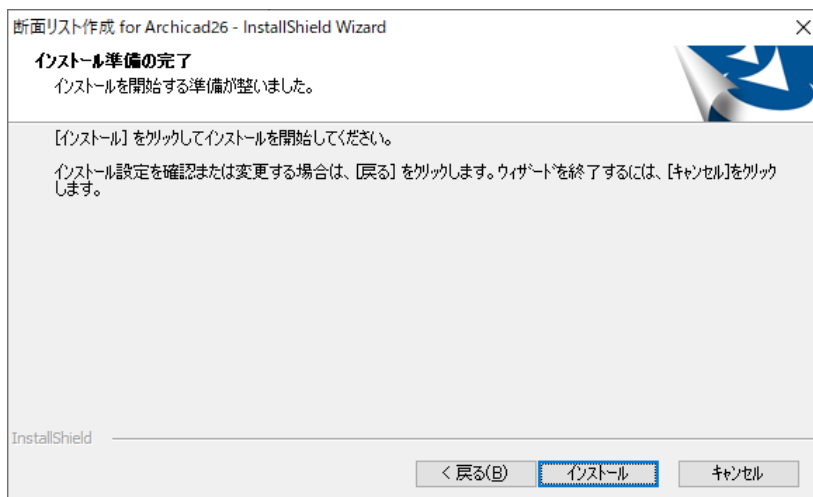
- (4) インストールする機能にチェックを入れ、[次へ(N)] をクリックします
*対象の Archicad がインストールされていない場合、その Archicad を対象とした機能は表示されません



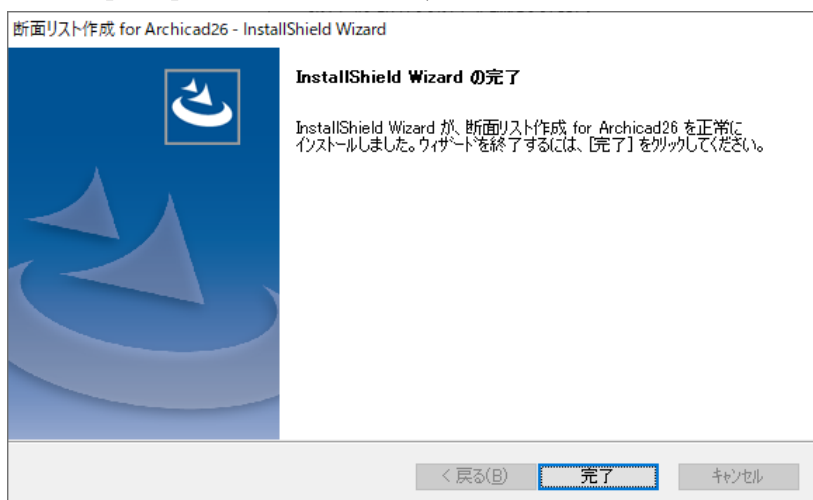
- (5) [次へ(N)] をクリックします



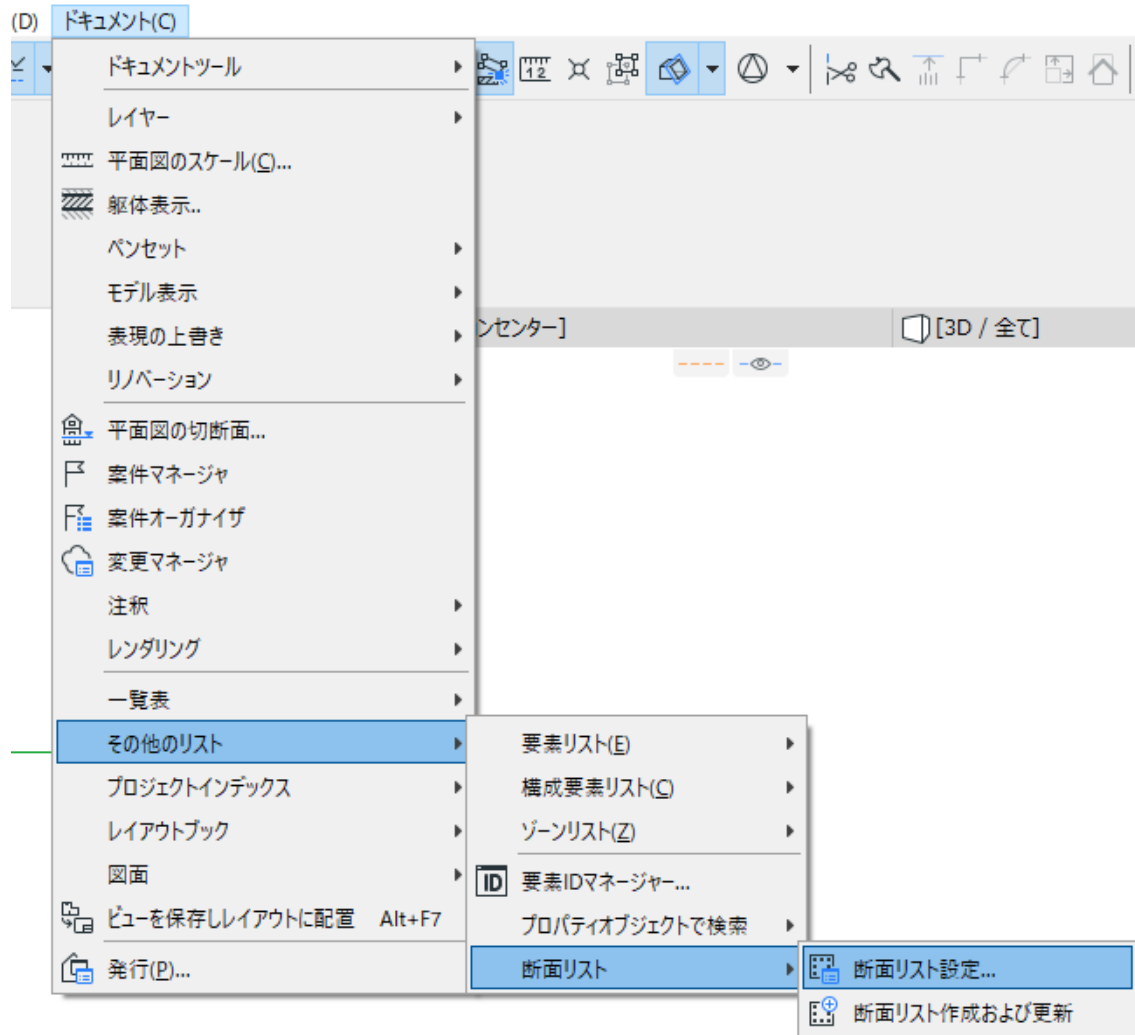
- (6) [インストール] をクリックします



- (7) [完了] をクリックすると、インストールが完了します



断面リスト設定



断面リストに関する設定を行います。

※指定がない場合は「D」とする

【リスト図設定】

- ・縦並び（鉄骨断面リスト）

チェックを入れると、鉄骨断面リストが縦並びに作図されます。

[チェックを入れた場合]

階	符号	断面	
PR階			
R階	C10	H-250x250x 9.0x14.0	
3階	C1	□-400x400x16.0	
	P3	H-150x150x 7.0x10.0	
2階	C1	□-400x400x16.0	
	P3	H-150x150x 7.0x10.0	
1階	C1	□-400x400x22.0	
	P3	H-150x150x 7.0x10.0	

[チェックを外した場合]

符号	C1	C10	P3
PR階			
R階		H-250x250x 9.0x14.0	
3階	□-400x400x16.0		H-150x150x 7.0x10.0
2階	□-400x400x16.0		H-150x150x 7.0x10.0
1階	□-400x400x22.0		H-150x150x 7.0x10.0

- ・主筋を段ごとに出力

チェックを入れると、主筋が段ごとに出力されます。

[チェックを入れた場合]

B×D		350×650
上端筋	1段筋	4-D22
	2段筋	4-D22
	3段筋	3-D22
下端筋	3段筋	3-D22
	2段筋	3-D22
	1段筋	4-D22
あばら筋		D10-2@150
腹筋		2-D10
備考		

[チェックを外した場合]

B×D		350×650
上端筋		4/4/3-D22
下端筋		4/3/3-D22
あばら筋		D10-2@150
腹筋		2-D10
備考		

- ・ 帯筋を数値で出力

チェックを入れると、帯筋が数値で出力されます。

[チェックを入れた場合]

B×D	500×500
主筋	8-D19+D10
帯筋	2-D10@100
備考	
位置	全断面
接合部帯筋	

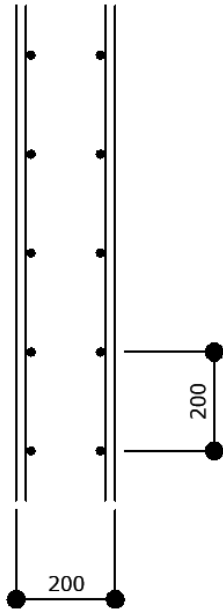
[チェックを外した場合]

B×D	500×500
主筋	8-D19+D10
帯筋	<input type="checkbox"/> -D10@100
備考	
位置	全断面
接合部帯筋	

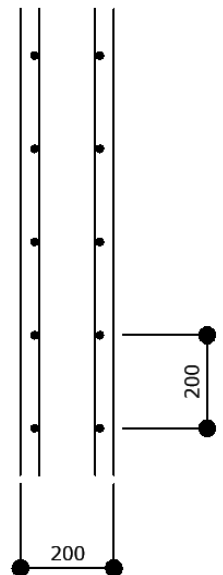
- ・縦筋を外側に

チェックを入れると、壁の縦筋が外側に描画されます。

[チェックを入れた場合]



[チェックを外した場合]



- ・部材が無い場合斜線を引く

チェックを入れると、部材が無い場合に斜線を引きます。

[チェックを入れた場合]

位置	
接合部帯筋	
3	
間	
B×D	
主筋	
芯鉄筋	
帯筋	
備考	

[チェックを外した場合]

位置	
接合部帯筋	
3	
間	
B×D	
主筋	
芯鉄筋	
帯筋	
備考	

【作成項目】

- ・各部材の表示/非表示及び並び順を指定します。

柱	
表示	位置
表示	接合部帯筋（上）
表示	階
表示	BxD
表示	主筋
非表示	芯鉄筋
表示	帯筋
表示	接合部帯筋（下）
表示	備考

ダブルクリックで表示/非表示を切り替えます

項目をマウスでドラッグすると順番が入れ替わります

【鉄筋マーク】

- ・径毎の鉄筋マークを指定します。

【図面設定】

- ・文字フォント、ペンの種類など、図面に関する設定を行います。

【鉄筋設定】

- ・鉄筋種別に対する記号の設定を行います。

種別	記号
SD295	D
SD345	HD

上記のように入力されていた場合、種別が「SD295」の鉄筋は「D25」、種別が「SD345」の鉄筋は「HD25」と作図されます。

【共通設定】

- ・部材のかぶり厚が0の場合に使用する値を指定します。

【エクスポート / インポート】

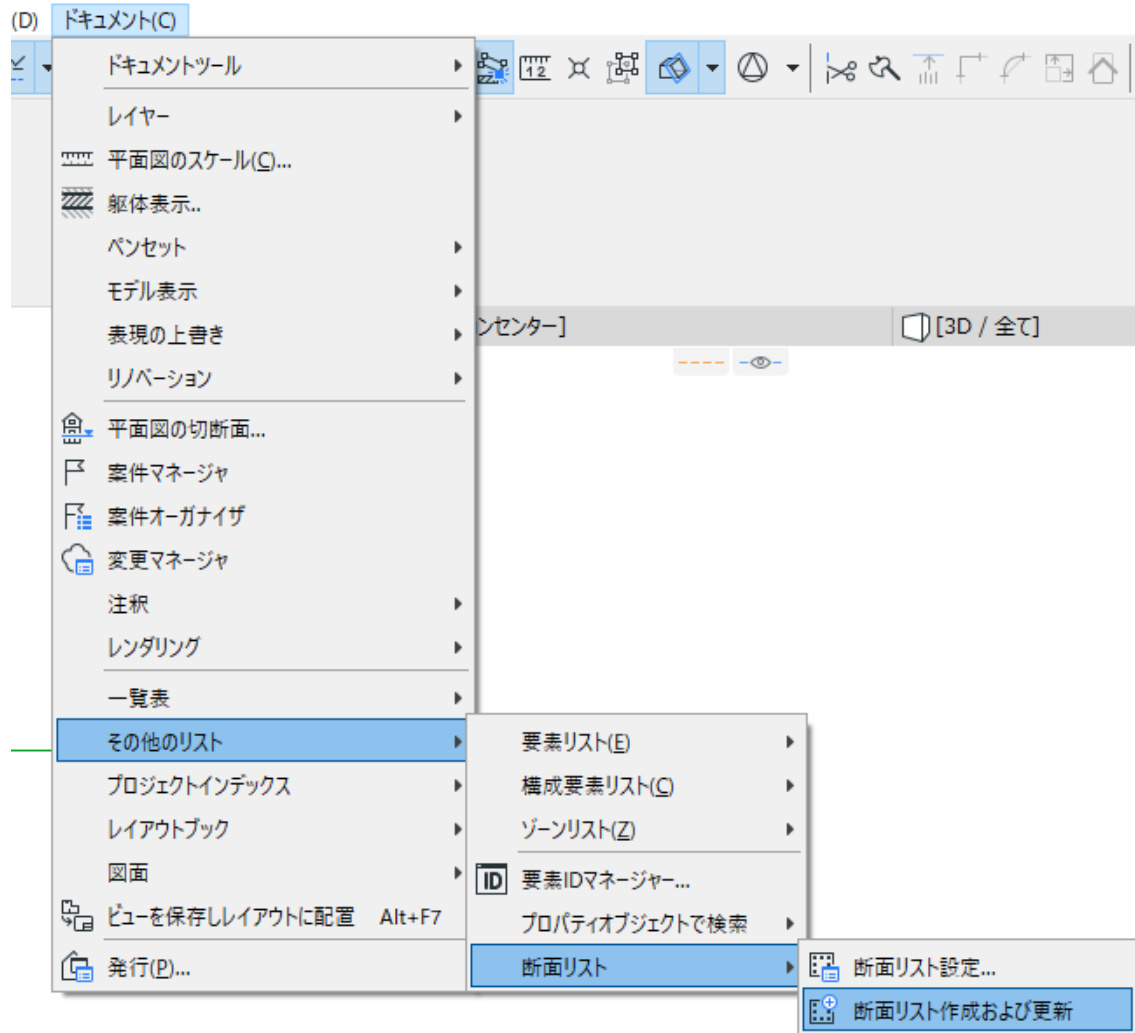
- ・設定内容を外部ファイルにエクスポート / インポートします。

【キャンセル / OK / 更新】

- キャンセル： 設定を保存せずに画面を閉じます。
- OK： 設定を保存して画面を閉じます。
- 更新： 設定を保存して断面リストを更新します。

断面リスト作成及び更新

断面リストの作成及び更新を行います。



ワークシートに断面リストが出力されます。

- ▼ ワークシート
 - RC小梁断面表1 RC小梁断面表1 (個別)
 - RC大梁断面表1 RC大梁断面表1 (個別)
 - RC大梁断面表2 RC大梁断面表2 (個別)
 - RC柱断面表1 RC柱断面表1 (個別)
 - スラブ断面表1 スラブ断面表1 (個別)
 - 一般壁断面表1 一般壁断面表1 (個別)
 - 基礎小梁断面表1 基礎小梁断面表1 (個別)
 - 基礎梁断面表1 基礎梁断面表1 (個別)

機能要件

対象となるツール

各要素設定ダイアログに鉄筋情報タブが表示されるツールは下記となります。

- ・柱ツール
- ・梁ツール
- ・スラブツール
- ・屋根ツール
- ・壁ツール

共通要件

- ・入力情報は IFC プロパティとして保存されます。編集は鉄筋入力タブで行います。
- ・RC 造/S 造の判別は IFC プロパティの内容で判定しています。

作成される断面リスト

本アドオンで作成される断面リストは下記となります。

- ・RC 柱リスト
- ・RC 大梁リスト
- ・RC 小梁リスト
- ・S 柱文字リスト
- ・S 大梁文字リスト
- ・S 小梁文字リスト
- ・基礎梁リスト
- ・基礎小梁リスト
- ・スラブ文字リスト
- ・一般壁リスト

制限事項

- ・Archicad で部材の情報を編集する場合は、同一階の同一符号（要素 ID）の部材を全て同じ値に変更する必要があります。
- ・ST-Bridge Ver.2.01 で取り扱っている項目のみを対象としています。
- ・杭リストは対象外です。